



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 163 号 ■

全日本民医連学術・運動交流集会

リモートならではのメリット

ファルマ 一ツ谷薬局 主任 西沢 光

10月22日(金) 23日(土)に15回全日本民医連学術・運動交流集会に参加しました。コロナ禍ということもあり、Zoomを用いたりリモート形式での集会となりました。

私は22日に行われたファルマ弘前薬局の小田切望葉剤師の「当薬局における減薬調査」の発表と、23日に行われた同薬局の村上昌葉剤師の「地域支援体制加算に向けた取り組み」の発表を視聴しました。

発表はパワーポイントに音声を取り付けた内容を視聴する形で、質問があった場合にはリアルタイムで応対していました。フロアからも質問があり、全国的に興味・関心がある内容を発信できていたと思います。

今までは現地に行かない

ケアと多様性を大切に社会

ファルマ弘前薬局 事務長 工藤 敏子

初めてのZoom開催となった学術運動交流集会に参加しました。

まずは「ケアと多様性を大切に社会へ」と



出前講座について発表した鈴木課長(上段中央)

全日本医療社会保障を立て直せ 10・14総行動に参加して

ファルマ浪岡薬局 主任 三浦 明美

「#いのちまもる医療・社会保障を立て直せ10・14総行動」をオンラインで視聴しました。まず、主催者と聴けなかった講義・発表や、演者の時間が重なってしまい聴けなかったものなども、オンデマンド配信を利用することでいつでも自由に視聴できるというところが、リモートならではのメリットを感じた今回の取り組みでした。

「#いのちまもる医療・社会保障を立て直せ10・14総行動」をオンラインで視聴しました。まず、主催者と聴けなかった講義・発表や、演者の時間が重なってしまい聴けなかったものなども、オンデマンド配信を利用することでいつでも自由に視聴できるというところが、リモートならではのメリットを感じた今回の取り組みでした。

まっすぐに人権意識をもつ民医連事務職員に

本部 課長補佐 阿部 千佳子



9月29日(水)全日本民医連第44期事務育成活動交流集会在Zoomで開催されました。全国から345人ほどの参加で過去最高人数の参加者でした。

まず、全日本民医連事務局長で事務育成委員会委員長の寺山公平氏から「第44期事務育成活動交流集会開催に際して」というテーマで講演がありました。講演の中で印象に残ったのは、コロナ禍においては民医連内外の現場をつなぎ、要求をまとめ、地域の声を拾い上げ、「いのち」が最優先

「#いのちまもる医療・社会保障を立て直せ10・14総行動」をオンラインで視聴しました。まず、主催者と聴けなかった講義・発表や、演者の時間が重なってしまい聴けなかったものなども、オンデマンド配信を利用することでいつでも自由に視聴できるというところが、リモートならではのメリットを感じた今回の取り組みでした。

いて話されました。次に、リモートトークが全国各地からリモートを含めてあり、各医療、介護の職員、保育士等々、コロナ禍で大変になった現状の話がありました。

最後に集会アピールとして

1. いのちと人権を守る医療・社会保障つくる政治を
2. 医師、看護師、介護職員、保育士などの大幅増員・処遇改善、公衆衛生体制の拡充を
3. 患者・利用者の負担増

ストップ！地域の医療・介護を守れ！

4. 低医療費政策とコロナで疲弊した医療提供体制を立て直す診療報酬の大幅引き上げを

職場で視聴しました

の事務職員であるということ、まっすぐに人権意識をもつのが事務の強みであり、医師より先に命・人権を諦めてはいけないという言葉が強く心に残りました。更に「誰から言われたか」が大切、どの職種にも共通で、「誰から言われたか」の「誰」になってほしい、それには普段からの関係づくりが大切だという言葉に、自分がその「誰」になるのと同時に「誰」を育成していかなければならないと思いました。

その後は4つの指定報告とスモールグループディスカッションで各地域の状況や悩み、実践を聴き、今後にかかしていきけるものも多くありました。多くの事例や報告を聴くことができ、大変有意義な集会でした。

17才のわたし

藤代薬局 三上 菜美

コロナ禍で実家に帰れず写真もあまりなかったので、写真があり記憶がある輝かしい高校生時代のエピソードを紹介いたします。高校3年間、弓道が大好きで毎日たくさん弓を引いていました。幸いにも私がいた高校は弓道が強い学校でレベルの高い練習をすることができました。そのためか高校生で参段を取得したくさんの賞を取り、強化合宿や東北大会にも参加することができました。国体は選手に選ばれましたが、東北大会止まりになってしまいました。

弓道経験者は分かるかと思いますが、早気(はやけ)や遅気(もたれ)といった弓道ならではのスランプに陥り悔しい思いをしたこともありました。ですが、スランプと向き合い鍛錬を重ねたことで、個人優勝とその大会で男女1人ずつにしか与えられない射道優秀賞をいただくことができました。

小学校から運動部で様々なスランプを経験して乗り越えてきましたが全ての経験が今、役に立っていると思います。子どもたちにも経験させてあげたいな。

最近、京都アニメーションが制作した『ツルネ』という弓道のアニメが好きで観ています。気になる方は観てみてください！

いつかまた、弓を引いて『ママ、かっこいい』な～んて言われてみたいですね... (夢)



第5回東日本高等学校弓道大会
2005年12月17-18日 第二会場東京体育館(東京体育館)
凛々しい姿の三上さん

美味しく食べて、楽しく免疫力をつける

ファルマ弘前薬局 薬剤師 高橋 沙鈴

9月29日(水) ファルマ弘前薬局大会議室と各職場をオンラインでつないで、管理栄養士の石田直子氏を講師に招き、免疫力を高める食材・調理法・食事の仕方について学習会が開催されました。

「COVID-19の悪化には血清亜鉛・血清ビタミンD濃度低値が関与している」というお話から始まり、各種ビタミン・プロバイオティクス・食物繊維・タンパク質の体内での働き、それぞれの1日摂取基準、栄養素をバランス良く取り入れることが免疫力向上に繋がることをお話しくださいました。

食事のバランスを考えすぎて負担になってしまいう場合には、食べるものをパターン化してみるのも良いとのことでした。今回の学習会は、患者さんの食事指導の参考になったのと同時に、自身の食生活を振り返るきっかけにもなりました。紹介していただいた料理を参考に美味しく食べて、楽しく免疫力をつけていきたいと思えます。



紹介された料理はどれも美味しそう♪

市民の声を届ける、自治体キャラバンに参加して

ファルマ弘前薬局 主任補佐 工藤 由希子

10月26日(火) 弘前市社会福祉センターで弘前市との自治体キャラバンが開催されました。自治体キャラバンは、青森県

弘前市の国民健康保険加入世帯の8割は年収が200万円以下で、保険料を払いたくても払えない現状にあります。また、国の度重なる介護保険改悪により今年の8月から

社会福祉協議会が事前に国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険等に関して弘前市へ要求書を提出し、その回答をもとに懇談します。

このように、充実した社会保障とは程遠い現在、私たちは自治体へ市民の切実な声を届け、改善するよう訴える必要があります。今回の懇談会で感じたことは、自治体は、国の方針にしたがっている

介護保険の「補給給付」における食費の見直しが行われました。これにより、年間26万円の負担増となる方もいます。これは、施設への入居の申し込みをためらい、「待機者」にすらならない「要介護者」が続出する危険があるのです。



懇談会の様子

だけ」と聞き直りの回答が多かったように思います。一市民として、自治体は国のいいなりでよいのか、市民の暮らしの「困った」をいち早く解決する役割であるべきではないのかと強く感じました。



黒石薬局 三浦 あゆみ

新入職員紹介

8月から黒石薬局の非常勤事務として勤務している三浦歩と申します。前職でも薬局で働いていました。が、レセコンも一包化の機械も違うので慣れずに戸惑うこともありましたが、皆さんに優しく教えていただけで、とても聞きやすい環境に感謝しながら働いています。黒石薬局は介護保険や居宅の算定が多く、今まではあまり経験がなかったもので、これから色々と学んでいきたいと思えます。患者様にも丁寧な対応を心掛けて気持ちのよい薬局にしていきたいと思えます。

写真紹介

セルフレジ稼働

11月1日(月)から各薬局でレジスターの入れ替えを行っています。セルフレジに変わり、はじめは戸惑う患者様もいらっしゃいますが、スムーズになったと好評をいただいております。



弘前調剤センター

藤代薬局

ファルマ浪岡薬局

黒石薬局

ファルマ ーツ谷薬局

ファルマ弘前薬局

青森県では8店舗のみ

青森県より9月に弘前調剤センター、10月に藤代薬局・ファルマ浪岡薬局・黒石薬局・ファルマ弘前薬局の5つの薬局で「地域連携薬局」の認定を受けることができました。今後も地域の皆様が安心して薬局をご利用いただけるよう努めてまいります。



うまれました



貴輝くん

8月19日(木) 黒石薬局の津川なつみさんに身長50cm、体重3372gの元気な男の子(貴輝くん)が生まれました。おめでとうございます。